

令和3年度 高分子学会九州支部産学連携フォーラム

主題 グリーン成長社会を目指して

趣旨 近年、経済と環境の両立・好循環を目標とするグリーン成長戦略が注目されています。具体的取組みとして例えば、脱炭素化、脱ガソリン車、サーキュラーエコノミー、マテリアルリサイクル、ワイヤレス社会などをターゲットとした研究開発が挙げられます。今回のフォーラムは、関連分野の研究開発最前線でご活躍されている先生方に研究成果をご紹介いただく場として開催いたします。本フォーラムでの講演、議論を通じて、グリーン成長社会実現に向けての人的ネットワークが構築されることを期待いたします。今回はより多くのかたにご参加いただける様に、オンサイトとオンラインを併用したハイブリッド開催を実施いたします。

主催 高分子学会九州支部

日時 2021年12月3日(金) 13:30~16:30

会場 福岡大学（中央図書館・多目的ホール）〒814-0180 福岡市城南区七隈8-19-1

交通 福岡市営地下鉄七隈線「福大前駅」下車

プログラム (敬称略)

13:30~13:35 開会

13:35~14:15 「無機固体電解質を用いた全固体電池の開発」

大阪府立大学 大学院工学研究科 物質・化学系専攻 林 晃敏

<概要>

従来の有機電解液に代えて、無機固体電解質を用いた全固体電池は安全性と高エネルギー密度を兼ね備えた次世代蓄電池として研究開発が活発化している。本講演では、主にリチウムイオン伝導性を示す硫化物系および酸化物系固体電解質の特徴と開発経緯について述べ、それらを用いた全固体電池の作製と研究の進展について紹介する。

14:15~14:55 「5G時代の高周波基板向け芳香族ビニル系低誘電損失材料の開発」

日鉄ケミカル&マテリアル株式会社

総合研究所 エポキシ樹脂材料センター 川辺 正直

<概要>

第5世代を迎えた情報通信技術では、高周波化・高速化・大容量化に伴う信号伝送への要求特性の高度化に対応した超低誘電特性が求められる。一方で、実用的な実装材料として、多層成形性、耐熱性、接着性等の多様な加工性や物理的特性も求められる。我々は、特徴ある精密重合技術をベースに、これらを同時に実現し得る芳香族ビニル系低誘電損失材料を開発したので今後の展望と併せて報告する。

(休憩)

15:05～15:45 「新しい枠組み下におけるバイオマスの有効利用—その課題と展望—」
日本バイオマス製品推進協議会、(一般社団法人) 日本有機資源協会
木村 俊範

<概要>

今日、世界の環境意識は温室効果ガス削減のような単なる環境問題に留まらず、人類を含む生物圏との共生にまで踏み込んだ非常に複雑かつ大きなテーマとなっている。一方、我が国では行政の縦割り等に起因して乗り遅れが目立つものの、矢継ぎ早に提案されるサーキュラーエコノミー、SDGs 等々につき、検討、政策立案が始まっている。この新しい動きの下で 2050 年実質カーボンニュートラル達成に向けての課題と展望とにつき、その中核的存在とされるバイオマス利用の観点から述べたい。

15:45～16:25 「三菱ケミカルにおけるサーキュラーエコノミーへの取り組み」
三菱ケミカル株式会社 サークュラーエコノミー推進本部 櫻井 愛子

<概要>

地球温暖化をはじめとする社会課題への対応が求められる中、化学会社にとって環境負荷の低減、製品サービスによる貢献、循環型ビジネスへの転換は重要な課題であるとともに責務とも言えます。これらの課題解決に向けた三菱ケミカルのサーキュラーエコノミーへの考え方と、ケミカルリサイクルやバイオポリマーなどいくつかの取り組み事例をご紹介します。

16:25～16:30 閉会

参加要領

1) 参加費 無料

2) 申込方法 氏名、所属、役職、連絡先(メールアドレス、電話)、参加形態(オンサイト or オンライン)を明記の上、E-mail にて申込をお願いします。

(可能な限り、ご所属毎(例：研究室単位、部門単位)に取りまとめたの申込をお願いします。)

申込先 矢野 博之 (日鉄ケミカル&マテリアル株式会社 総合研究所 研究企画部)

E-mail: yanohi@nscm.nipponsteel.com TEL: 093-884-1623

フォーラムに関するお問い合わせ 庶務幹事 檜垣 勇次 (大分大学理工学部)

E-mail: y-higaki@oita-u.ac.jp TEL: 097-554-7895

3) 申込締切 2021年11月19日(金)

以上